

事務事業名		一日保育体験事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		子育て支援課		事業種別	政策	開始	23	終了	
H28担当課等名		H28係等名 保育係		H27係等名 保育係					
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
		施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実					
目的	対象(誰・何を)	保育所に通園する児童の保護者					指標名及び単位	27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	保護者が子育ての楽しさを再認識するとともに、園とのコミュニケーションを深めより強固な信頼関係を築く。					対象指標	3歳児以上の家庭数 989	
	向上させたい上位施策の成果指標	子どもを産みやすい社会環境であると感じている対象者の割合							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	一日保育体験事業への参加者数(人)			500	473	500	500	
	定性目標								
事業概要	<p>1 自分の子どもが通園する保育所で、保護者が保育の体験をし、子どもの園での生活やその活動を直接見聞する機会とすることにより子育ての楽しさを再認識する。(特に父親の育児参加を促すことにより母親の育児負担の軽減にもつなげていく)</p> <p>2 対象者:保護者989人(できる限りの範囲で、卒園するまでに1回の体験をしていただく)</p> <p>3 日程:(4月)受入準備・広報・日程調整、(5~11月)一日保育体験の実施、(12月~3月)活動の総括、来年度への反映</p> <p>4 実施内容:園で、遊び(運動・絵本・製作など)や給食(配膳・食事・片付け)など、実際に子どもの保育を体験する。</p>								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	<p>1 実施方法</p> <p>(1)保護者が園で、実際に保育の体験</p> <p>(2)参加者へのアンケートから保育に対する悩みや課題の吸い上げ</p> <p>(3)家庭でのしつけ等に役立つ情報を抽出し、それを「家庭教育啓発推進事業」の子育て講座などに活用</p> <p>2 対象者 市内の公立保育園に通園する園児の保護者</p> <p>3 日程</p> <p>(1)5月~11月 一日保育体験の実施</p> <p>(2)12月~3月 課題抽出・育児支援情報への活用</p>				実施保育所数 参加保護者数		18園 473人		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		189	200	158	200	(そ)給食実費徴収金(人数*200円)			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他			200	158	200				
一般財源		189							
人件費計(千円)②		250		215					
正規職員所要時間		70		60					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		439	200	373	200				
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>公立保育園・幼稚園全園で実施することができた。参加者からは好意的な内容のアンケート結果が寄せられている。特に、家庭では見られない集団生活の中の様子に注目していただいている。また、参加者を増やす方策として、アンケート結果を基に、実施の目的を周知することも必要であることがわかった。通園期間のうちに1回は保護者が参加できることを目標とする。</p>							
改革改善の考え方	①問題点	保護者が家庭でのしつけを学ぶ上で有効な情報を、他の子育て支援策でも活用できるようにする。							
	②改革提案	参加した保護者のアンケートの回答から、子育てや家庭でのしつけにかかる様々な問題点や課題を抽出し、それを「家庭教育啓発推進事業」の子育て講座等に活用して、有意義な育児支援につなげる。							